

# 車いす体験

ふくしえほんフォローアップ

狛江市市民活動支援センター

(こまえくぼ1234)

# 車いす体験のねらい

車いすの操作・試乗体験を通して、車いすを使っている人の気持ち考える。  
また、サポートをすることによって配慮について考え、助け合う気持ちの大切さを知る。

問い合わせ先

狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ1234）

電話 03-5761-5556

FAX 03-5761-5033

メール [info@vc.komae.org](mailto:info@vc.komae.org)

# 車いす体験 貸出品



車いす



三角コーン小 8個



三角コーン大 4個



コーンガード 5本



自転車イラスト 2枚



グリーンシート・角材 2セット



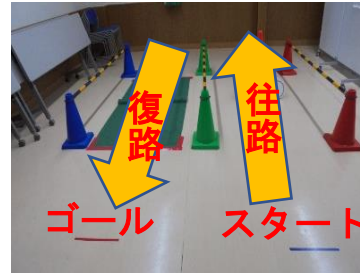
スケッチブック

園で用意する物

養生テープ

ビニールテープ

# 体験コースの準備



## 段差コーナーを作る



## ①コースを作る

- ・コーンガードと三角コーン小で折り返しコースを作る。
- ・コース幅は、車いすの幅の1.5倍位。

## ②自転車を作る

- ・三角コーン大に自転車の絵のダンボールをセットする。
- ・往路に自転車を置く。

## ③段差コーナーを作る

- ・復路の進行方向に対して直角に角材を置き、養生テープで床に固定する。
- ・固定した角材の上に、グリーンシートを被せる。この時に、角材の形が分かるようにたるみを持たせる。
- ・グリーンシートの両端（段差コーナーの始まりと終わり）を養生テープで床に貼り付ける。

## ④スタートを作る

- ・車いすを置く。
- ・ビニールテープなどで、スタートラインを引く。

## ⑤ゴールを作る

- ・ビニールテープなどで、ゴールラインを引く。

## ⑥子供たちの待機場所を決める

- ・スタートライン、ゴールライン側の場合には、各ラインから1メートル程間隔を空けて待機ライン等を貼る。

# 園児の事前準備（始まる前に）

- 体験ペア（2人組）を決めておく。  
全員が、「車いすに乗る」と「お手伝いをする」の2つの体験をします。  
最初の体験のときに、どちらかの体験をし、次の体験の順番が来た時に、ペアで体験を交代します。
- 体験の待機場所に座る。  
会場のスペースにより、一ヶ所でまとまって待機したり、体験コースの周りを囲む方法もあります。

# 1 はじまり 先生からの問いかけ

みんなはどうやって保育園まで来ている？

(例：車、自転車、徒歩)

では、けがをしたときにはどうやって保育園に来る？

⇒今日は、「ゆうくん」になって車いすに乗っている人の  
気持ちを考えよう。

# 2 車いすの正しい乗り方・降り方の実演

先生が  
実演します

## 車いすのなまえ



ブレーキをはずした状態



ブレーキをかけた状態



フットサポートをおろした状態



フットサポートをあげた状態



## 乗り方

① ブレーキ をかける

② すわる

③ フットサポート をおろす

④ ブレーキ をはずす

⑤ ハンドリム をうごかす

## 降り方

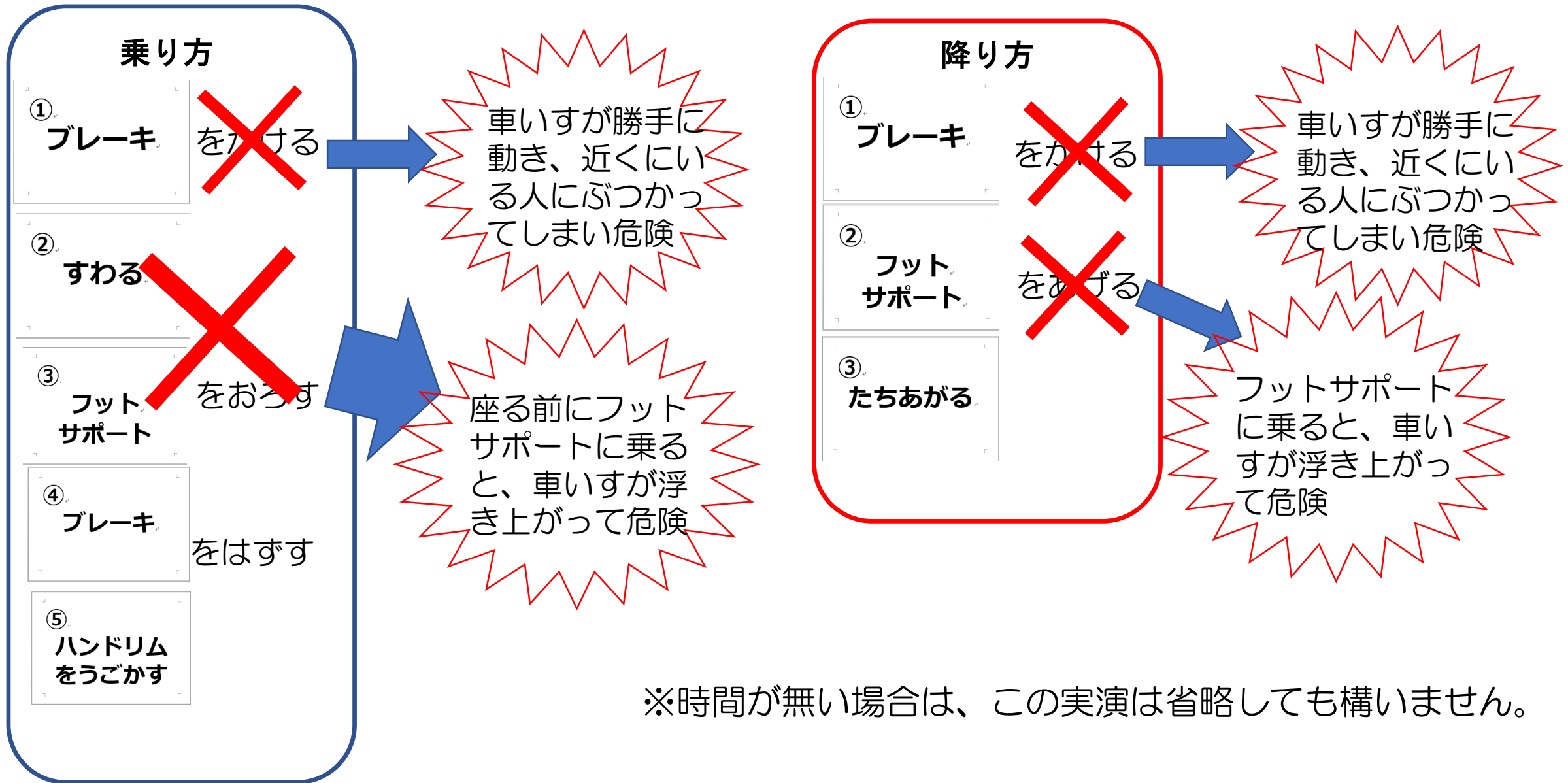
① ブレーキ をかける

② フットサポート をあげる

③ たちあがる

もう一人の先生が、園児にスケッチブックの手順を見せながら説明することもできます。

### 3 車いすの間違った乗り方・降り方の実演





# 4 お手伝いのとき

2人の先生で寸劇をします

## お手伝いするとき

- ①車いすに乗っている人が一人で頑張っているときには、少し離れたところから見守ります。
- ②車いすに乗っている人から「お手伝いしてください」「助けてください」などと、助けを求められたら、お手伝いをします。
- ③声を掛けずに、いきなり後ろから車いすを押すのは止めましょう。車いすに乗っている人が驚いたり、手が車輪に挟まれるなど、怪我することもあります。
- ④一人でお手伝いができないときには、近くにいる大人の人に手伝ってもらいましょう。

## お手伝いして欲しいとき

- ①自分で頑張れることは、自分でやりましょう。
- ②自分でできない時には、近くにいる人に「お手伝いしてください」「助けてください」などと助けを求めましょう。
- ③お手伝いをしてもらったら、「ありがとうございました」とお礼を言いましょう。
- ④車いすを押してもらおうときには、両手を膝の上に置きましょう。

※時間が無い場合は、次の「5 体験コースの実演」の中で説明しても構いません。

# 5 体験コースの実演

## 2人の先生で実演をします

### ①スタート地点

車いすに乗る人：車いすに乗り、スタートする。  
正しい乗り方を園児達と確認する。  
お手伝いする人：見守る。

### ②自転車の障害物

車いすに乗る人：一先ず、通れるか試してみるが、  
通れないので近くにいる人に  
「通れないので、自転車をどかして  
ください」と助けを求める。



お手伝いする人：快く引き受け、自転車をどかし  
てあげる。

車いすに乗る人：「ありがとうございました」

お手伝いする人：「どういたしまして」



### ③折り返し地点

車いすに乗る人：一人で頑張ってみる。  
お手伝いする人：見守る。

### ①ゴール地点

車いすに乗る人：車いすの正しい降り方を園児達  
と確認する。

お手伝いする人：見守る。

### ②段差コーナー

車いすに乗る人：一先ず、通れるか試してみるが  
通れないので近くにいる人に  
「段差があるので、お手伝い  
してください」と助けを求める



お手伝いする人：快く引き受け、「両手を膝に  
のせてください」と言う。

車いすに乗る人：両手を膝に乗せる。

お手伝いする人：段差を乗り越える。

「はい、どうぞ」と言う。

車いすに乗る人：「ありがとうございました」

### 段差の 乗り越え方

足元のステッピングバーを踏み込んでグリップを両手で下げて押す。



ステッピングバー

# 6 園児達の「車いす&お手伝い」体験

## 当日スタッフ（先生等）のすること

- ①段差コーナーの所で段差を乗り越えるお手伝いをします。
- ②お手伝いの子が移動した自転車を元の位置に戻します。
- ③折り返しの所で上手く回れない子には、アドバイスをします。
- ④スタートとゴールの見守りをします。
- ⑤園児が1回目の体験が終わったら、列の最後に並ぶように声掛けをし、2回目の体験が回ってきたペアには、お互いの役割を交代するように声掛けをします。

## 7 振り返り 先生が園児に質問します

①車いすに乗って大変だったところは？

②お手伝いで大変だったところは？

みんなは簡単に曲がったり階段を上ることができます。

でも、車いすは難しい。

車いすで困っている人がいたら、声をかけてあげましょう。

# 8-1 クイズコーナー

## この人は車いすに乗る？

小さな女の子と一緒にいる  
笑顔のおじいちゃん



A 乗ります。

ニコニコしてるけど、杖をついています。もしかしたら歩くのが大変かもしれません。近くに行くのは杖をついて歩けるけど、遠くに行くのは車いすを使うかもしれません。

ベッドに座っている  
おじさん



A 乗ります。

ベッドに手すりが付いています。もしかしたら身体のどこかが悪いのかも。足を怪我している人だけでなく、身体の中が良くない人（心臓、腰など）も歩くのが大変で車いすを使います。

「足を使って歩けない」と見て分かる人だけではありません。見ただけでは分からない人も車いすを使います。

# 8-2 クイズコーナー

## こんな車いすの使い方はいいの？



A ダメです。

車いすを台の代わりに使ってはいけません。バランスを崩して危険です。



A ダメです。

車いすは荷物を運ぶ用に作っていません。

## 8-3 クイズコーナー これ知ってる？



- Q 見たことある人？  
⇒どこで見た？  
⇒どんな特徴があった？

駅、電車、バス、車、トイレ、  
エレベーター、駐車場など

車いすの人が使いやすい建物などについています。車いすは、人ひとり分より幅を取ります。動くのが大変です。広くなっていたり、エレベーターのドアがゆっくり閉まったりします。

車いすの人だけではありません。見た目には分からないけど身体が大変な人や妊婦さんも使いやすいようになっています。

## 8-4 クイズコーナー これ知ってる？



- Q 見たことある人？  
⇒どこで見た？  
⇒どんな特徴があった？

乗り降りがしやすいように、他の駐車場より広いです。お店の入口の近くにつくられています。

ここが空いているときでも、必要な人が使えるように、停めないようにしましょう。（家族の人に教えてあげてください。）



## 8-5 クイズコーナー

これ知ってる？



Q この坂道（スロープ）は、どんな人に便利かな？

車いす、ベビーカー、足がうまく上がらないお年寄りなどには便利です。